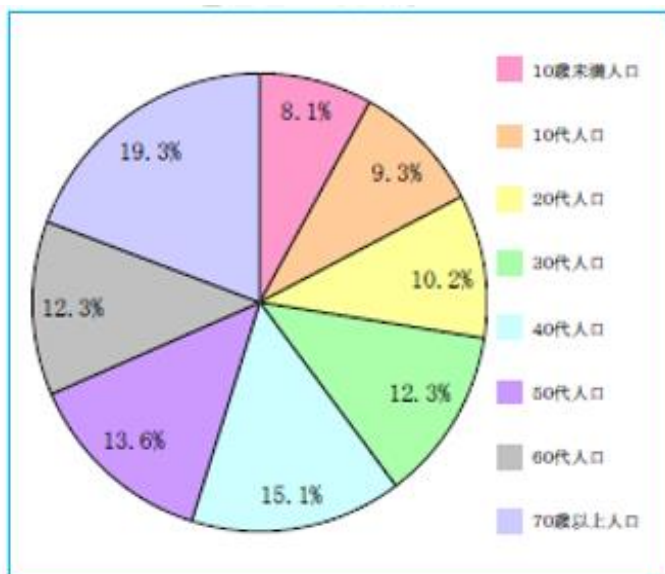


令和6年度 小山市おもいがわ商工会管内経済動向の分析

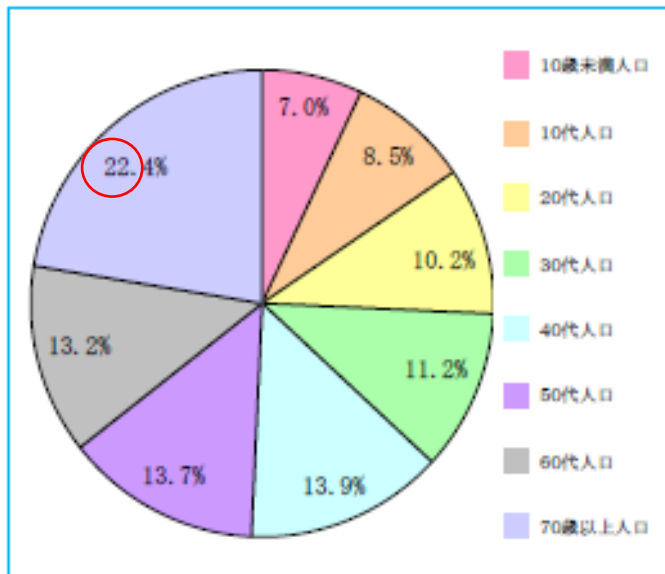
商工会では、株式会社日本統計センターが提供する商圈分析シス「MieNa(ミーナ)」を活用し、小山市3商工会(間々田・美田・桑絹)の地域経済動向を分析しました。どうぞご覧ください。

①居住者の年代構成

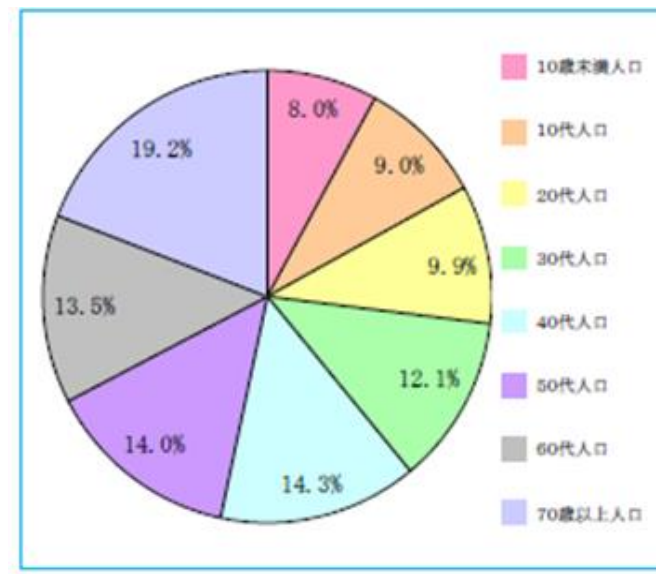
間々田の周囲5km圏



松沼(美田)の周囲5km圏



荒井(桑絹)の周囲5km圏

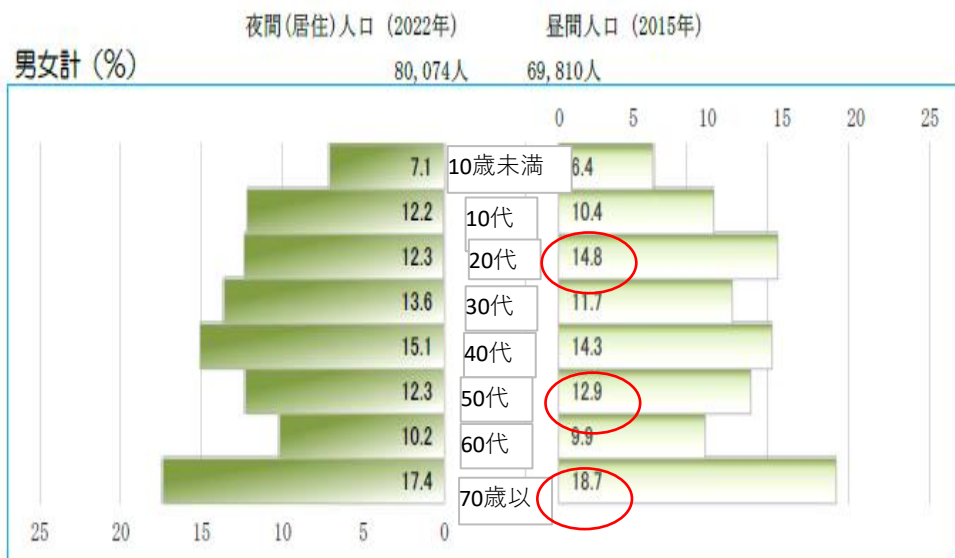


【分析結果】

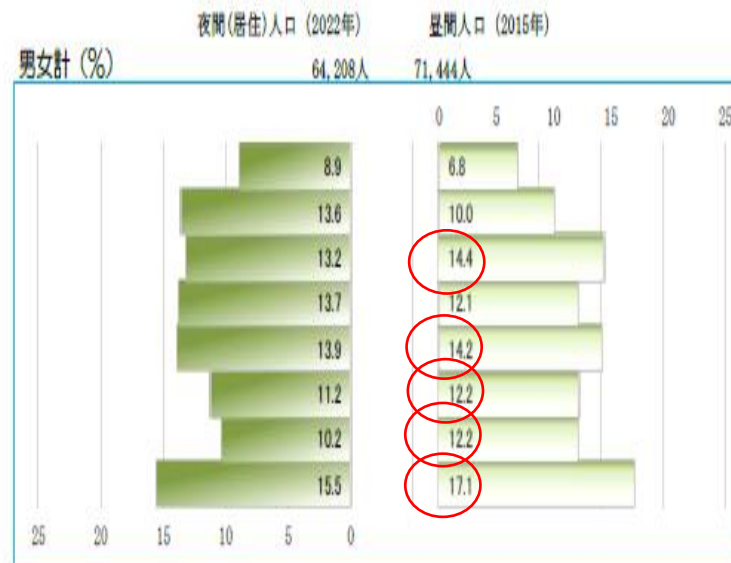
3つの地域周囲5km圏内における居住者の年代構成は、ほぼ同じで大きく変わりはない。美田(松沼)地域は70歳以上の比率が他2地域より若干高めで高齢化が進んでいるおり、10代人口から40代人口までの占める割合が50.8%であり、50%を切るのも時

②年代別人口構成比〈夜間(居住)・昼間〉

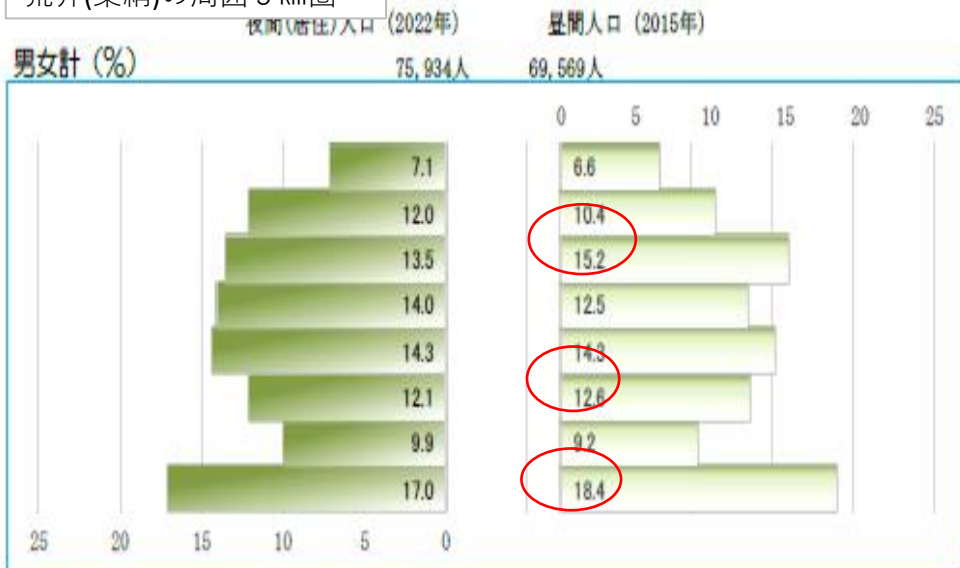
間々田の周囲 5 km圏



松沼(美田)の周囲 5 km圏



荒井(桑絹)の周囲 5 km圏

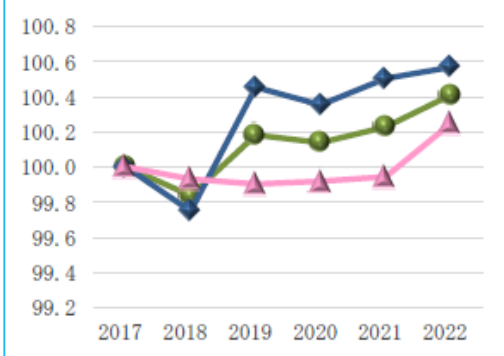


【分析結果】

3地域で共通していることは、20代50代70歳以上において夜間(居住)人口より昼間人口が高い。これは当地域への学生または社会人・買い物客等の流入があり一時的に人口が増えていると思われる。70歳以上においては介護施設の利用や通院等も推測される。

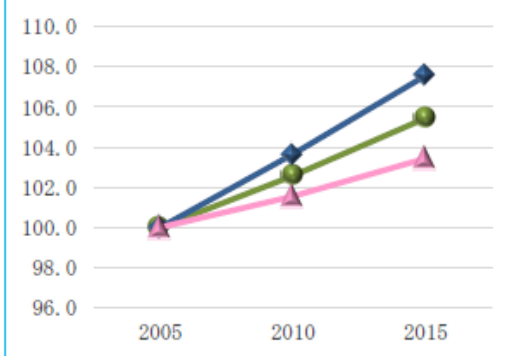
間々田の周囲 5 km圏

夜間(居住)人口の推移 (指数)



男女計、男性、女性

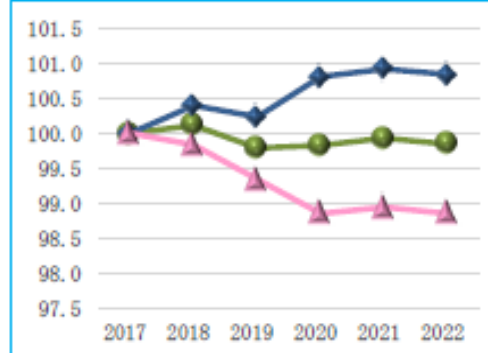
昼間人口の推移 (指数)



夜間(居住)は2017年を、昼間は2005年を100とした

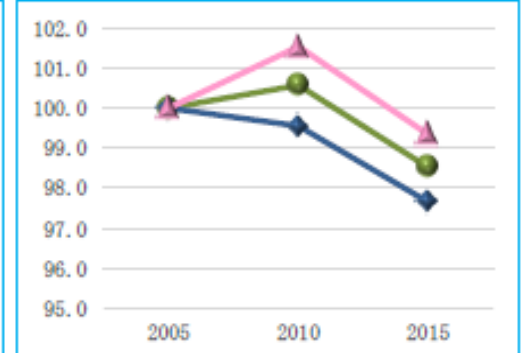
松沼(美田)の周囲 5 km圏

夜間(居住)人口の推移 (指数)



男女計、男性、女性

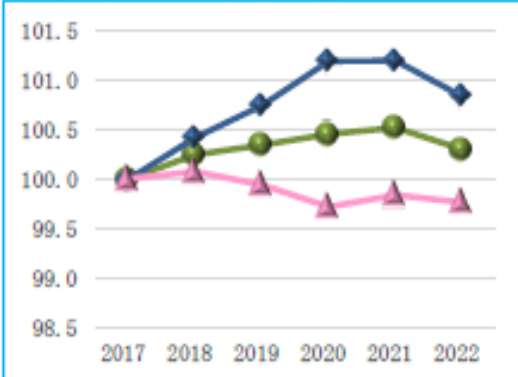
昼間人口の推移 (指数)



夜間(居住)は2017年を、昼間は2005年を100とした

荒井(桑絹)の周囲 5 km圏

夜間(居住)人口の推移 (指数)



男女計、男性、女性

昼間人口の推移 (指数)



夜間(居住)は2017年を、昼間は2005年を100とした

【分析結果】

昼間人口の推移を見ると、3地域特有の推移をしている。

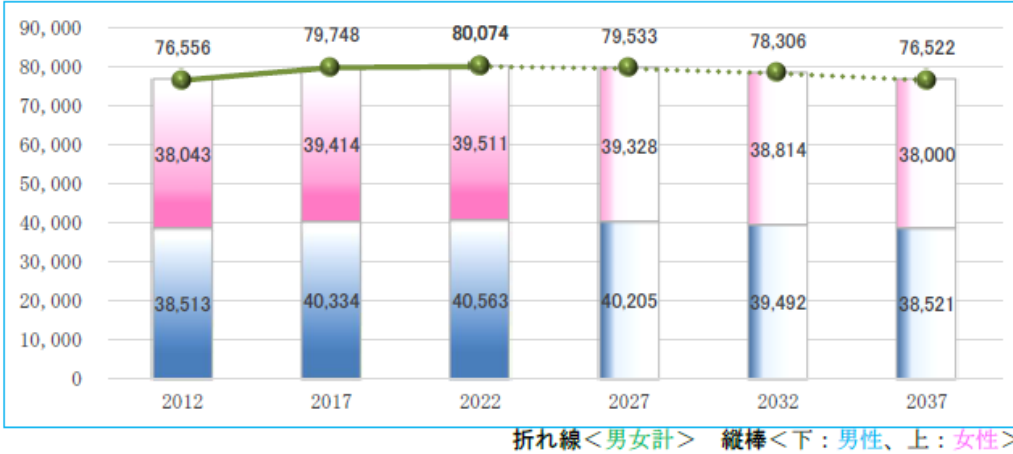
間々田地域は右肩上がりで増加しており流入人口が年々増えているが、美田(松沼)地域と桑絹

(荒井)地域は2010年をピークに減少し人口流出が見られる。間々田地域においては、2019年には荒井オークションによるヤード増設、それに伴う

③人口の将来推移

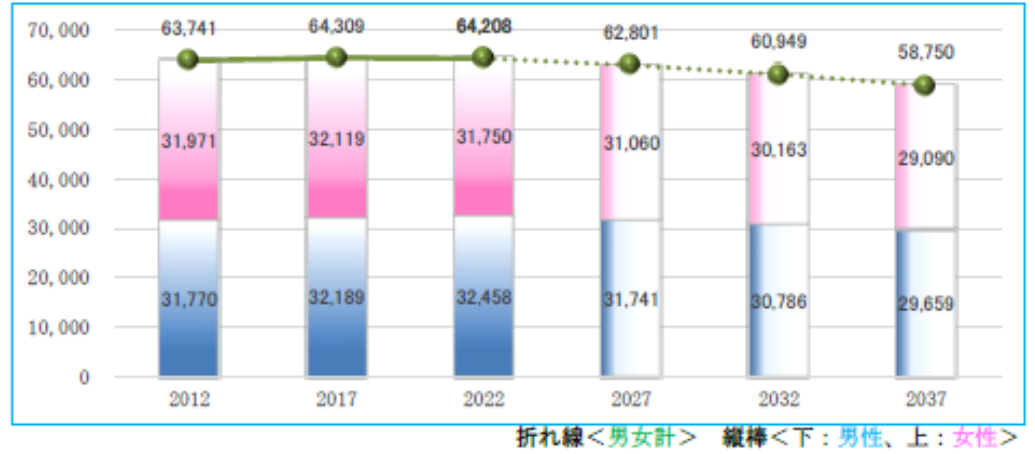
間々田の周囲 5 km圏

将来人口の推移・男女計（人）



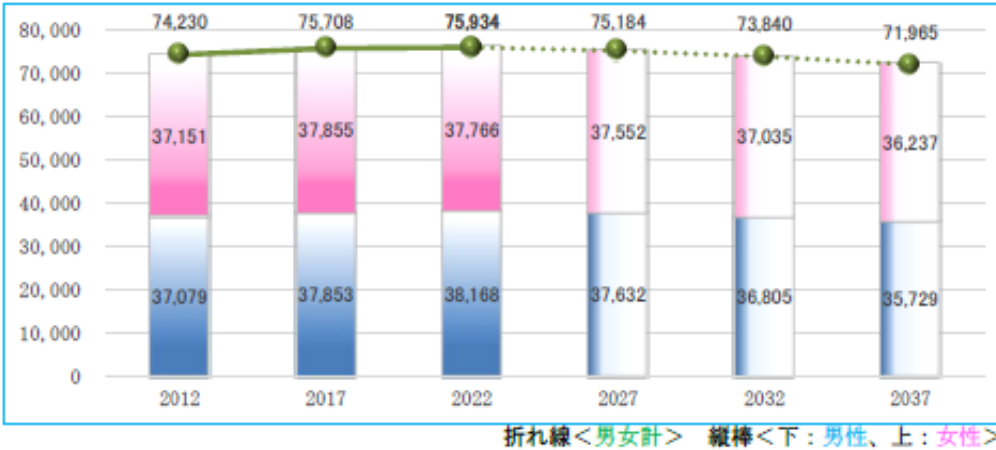
松沼の周囲 5 km圏

将来人口の推移・男女計（人）



荒井の周囲 5 km圏

将来人口の推移・男女計（人）



【分析結果】

間々田と桑絹地域は2022年をピークに人口減少しているが、美田地域は2017年をピークに人口減少が始まっていることから、美田地域の少子高齢化による人口減の影響が進んでいると推測される。

間々田・美田地域においては将来的に男性人口が女性人口より多くなる予測に対し、桑絹地区は2032年から男性

④居住地（在住者）と従業地（在勤者）でみた産業別人口

小山市おもいがわ商工会内平均値との比較による上位偏差値産業順

間々田の周囲 5 km圏		偏差値	人数
産業区分	1 情報通信業	56.23	789
	2 建設業	55.97	2,446
	2 複合サービス事業	55.97	260
	4 製造業	54.91	9,746
	5 卸売業・小売業	54.62	5,722

松沼の周囲 5 km圏		偏差値	人数
産業区分	1 鉱業・採石業・砂利採取業	52.51	12
	2 農林漁業	51.84	1,323
	3 金融・保険業	50.58	639
	4 公務	50.55	937
	5 宿泊・飲食サービス業	50.49	1,554

荒井の周囲 5 km圏		偏差値	人数
産業区分	1 医療・福祉	63.83	5,177
	2 教育・学習支援業	58.75	2,012
	3 学術研究・専門・技術サービス業	57.59	1,226
	4 農林漁業	57.3	1,398
	5 運輸・郵便業	56.6	2,495

【分析結果】

間々田は、情報通信業が商工会内平均値と比較して偏差値が高めである。3～5 km内のKDDI小山の存在が大きいと思われる。2位の建設業と4位の製造業の値が高いことから、この周辺では第2次産業の値が高くなっている。

美田（松沼）は、農林業の値が高く金融保険業が続いている。このことから農林業とJA・郵便局との繋がりが強いことが読み取れる。鉱業（砂利採取業等含む）と農林業の値が高いことから、全体的にこの地域は第1次産業の値が高い。

桑絹（荒井）は医療福祉がダントツで値が高く、続いて教育関係が続いているのが特徴である。1～5km範囲内には病院7カ所・空手教室7カ所存在。学習塾関係が小山駅周辺を中心に14カ所も存在し、小山高専を含む専門学校が11カ所もある。しかし第1次産業の値が高い。

3地域周囲5 km圏内で共通していることは、別資料によると第3次産業の就業者数が商工会内平均値を大きく上回っていることから、将来的には第3次産業の拡大が期待される。